

意見提出フォーマット

再意見提出者	新潟大学
--------	------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015年ごろや2020年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	<p>周波数帯域の不足を補う手段として、周辺の電波環境に応じて適応的に周波数帯域を確保するコグニティブ無線技術の研究開発を推進する必要があると考えます。</p> <p>ある無線システムに割り当てながら地域によって実際に使われていない周波数（ホワイトスペース）をコグニティブ無線技術により利用するホワイトスペース型無線システムは中長期的に周波数の確保に有効な方法の一つと考えられます。しかしこれを実現するためには、周波数割り当てを受けている既存無線システムを最大限保護するための技術面、制度面での課題について慎重かつ着実に検討を進めるべきと考えます。これは日本での実用化に必要な条件を、将来予想される国際標準化の場に反映させるために必要なことと考えます。</p>
(3) 関連する国内外の動向と課題	<p>現在、地上波 TV 放送の周波数で地域によって利用されていない帯域（TV ホワイトスペース）をめぐる議論と標準化が特に米国で活発に進められています。TV ホワイトスペースを利用した無線システムについては IEEE802. 22, IEEE802. 11af など標準化が進められています。特に IEEE802. 22 では無線通信技術の標準化だけでなく、IEEE802. 22 無線通信システムを実際に展開するにあたってのガイドラインの標準化が IEEE802. 22. 2 で進められています。</p> <p>また IEEE SCC41 (P1900)においては、より一般的なホワイトスペースを利用する無線技術の標準化が進められています。</p>
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	

複数のサービスやシステムについてご回答される場合は、それぞれ別々のフォーマットに記入してください（できるだけイメージ図等を加えてください）。